

教員の技能向上が必要

～3府県で熟練技能者の情報交換会を実施～

JAM熟練技能継承事業に指導者として協力いただいている熟練技能者を集め、相互の情報交換とJAMの事業運営に対する意見聴取を目的とした会議を、埼玉・岐阜・大阪の各地で開催し、熟練技能者同士の情報交換について必要性を理解し、JAMにとっても“機械器具の整備”や“教員の技能向上”の必要性など、現場実態における課題が浮き彫りになった。

埼玉では、11月8日(金)にJAM北関東で実施。8名の熟練技能者から「基礎のできていない教員の技能レベルアップが必要」「技能検定資格を就職に活かすためには合格発表を早めるべき」などの意見が出された。

岐阜では、11月10日(日)に岐阜市内のホテルで実施。7名の熟練技能者から「安全に対する意識付けが足りない」「刃具・工具の整備の講習会が必要」との指摘を受けた。

大阪では、11月18日(月)にJAM西日本会館で実施。5名の熟練技能者から「機械の整備ができていない学校があった」「測定具も不足やメンテナンスの必要がある」との現場実態に関する情報があつた。



埼玉の会議で挨拶する宮本熟練技能継承推進室長



埼玉における情報交換会のようす



岐阜における情報交換会のようす



大阪における情報交換会のようす